

2007.9月号

平成19年9月20日発行

発行元 NPO法人陽だまり
発行元住所 〒739-0043
東広島市西条西本町27-37 高貴ビル201
電話 082-422-4115

主な記事 総会報告/呉見学

アンケート結果

代表「3かくについて」/事務局だより

NPO法人陽だまり 定期総会開催

平成一九年五月二二日(土)、東広島市民文化センター(サンスクエア)において平成一九年度定期総会を開催しました。会員一二五名中六七名(うち委任状四五名)の出席で審議が行われ、全ての議案が満場一致で可決されました。

また、福祉有償運送事業(移送サービス)は、会員の皆さまの協力のもと順調にスタートを切ることができました。今年度は道路運送法改正に伴い、新たな研修や物品の準備に取り組み、法に基づいた運営と安全な運行に更なる力を尽くしていきます。

総会終了後は出席者で茶話会を行いました。活動者からは、どこまで手を貸してよいのか迷うとの話もありました。研修や個別指導で補っていききたいと思えます。

また、事務所に来客用の駐車場がないとのこと指摘もありました。あらかじめ分かっているお客様には、駐車スペースを確保してお待ちしております。活動者のみなさまはプラザなど周辺の駐車場を使用くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

呉へ一日見学

6月23日(土)、塩谷副代表と事務局スタッフ5名で「くれ市民協働センター」「すこやか子育て支援センター」を訪ねました。当日はお休みにもかかわらず、職員の方が丁寧に説明をして下さり、行政と市民の協働のあり方や、子育て支援について学びました。東広島市には、呉市のようなNPO等を対象とした市民協働の窓口がないので大変参考になりました。

午後には、NPO法人芸南たすけあいが運営する小規模多機能施設を見学しました。お世話になったみなさま、ありがとうございました。



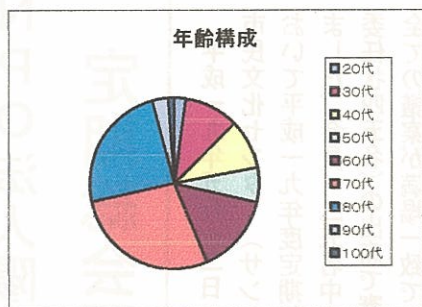
※ 小規模多機能施設: 「通い」を中心に、「泊まり」「訪問」などのサービスを柔軟に組み合わせて、小規模で家庭的な雰囲気の中、一人ひとりを尊重したケアを行う施設。東広島市では現在5施設がサービスを行っており、今年度中に2施設、来年度にはさらに3施設がオープンする予定。

陽だまり会員アンケート

アンケートにご協力いただきありがとうございました。94名の会員のみなさまから回答をいただきましたので、報告いたします。

1. 年齢・性別

| | |
|----|-----|
| 男性 | 20人 |
| 女性 | 74人 |
| 合計 | 94人 |



2. やってみたいことは？

- 1位 旅行(36人)
- 2位 料理(20人)
- 3位 書道(18人)
- 4位 映画鑑賞(16人)
- 5位 パソコン(13人)

3. 一人で外出されますか？

- はい 53人
いいえ 41人

4. どのようなサポートがあったら安心して子育てができますか？

- 1位 病児保育(14人)
- 2位 児童館(11人)
- 3位 長期休暇中の学童保育(10人)

5. 陽だまりが行うとしたら利用してみたいサービスは？

- 1位 整体・マッサージ(33人)
- 2位 付き添い小旅行(24人)
- 3位 家政婦(17人)
- 4位 交流サロン(14人)
- 5位 お泊まりサービス(11人)
- 6位 高齢者住宅(7人)
- 7位 美容サービス(6人)

その他

- ・子どもから大人までいろいろな人が交流できるサロンの様なものがあつたらよい。(30代)
- ・付き添い付きレジャー活動。親子で参加できるところ。海、川、プールなど。(30代)
- ・子守り、家事補助など子育て中の部分的なサポート(30代)
- ・楽しくなる話し合いの会。聞くだけでもよい。(70代)
- ・家具の移動(70代)
- ・温泉旅行(80代)

6. 陽だまりがお店を出したら参加してみたいですか？

- 1位 買ってみたい(31人)
- 2位 売ってみたい(9人)
- 3位 展示してみたい(4人)

※ 参加しない(20人)

7. 今、困っていることはありませんか？

- 1位 ゴミ出し(7人)
- 2位 食事(5人)
- 3位 入浴(4人)

その他

- ・体の弱い高齢女性の一人暮らしにはいろいろと心細い不安がいつもある。(70代)
- ・夫婦二人暮らしなので自分の病気療養中に主人の世話をしてくれるシステムがあれば助かる。(50代)
- ・家庭での見守り。夜でも力を借りたい。(60代)
- ・通院(80代)
- ・足が立たないので、はいはい歩行、故に高い所など手が届かないので、トイレ、食事、洗面、入浴など苦勞しながら頑張っている。(80代)

「3かく」について

代表 廣瀬 長子

私がまだ若かった頃、地域のお年寄り（当時60歳代だったか）に、「3かく」という言葉を聞いたことがあった。「3かく」？、「それはなに」？聞き慣れない言葉であった。そのお年寄りによるとそれは「汗をかく」「字をかく」「恥をかく」ということであった。その人はいつも畑仕事をしながら行き交う人に色々な話をしておられた。私もその中の一人であった。その時「3かく」の説明をされたように思うが、若かった私はたいして気にもとめずに聞いていたのであろう。残念ながらその説明の記憶はない。

私も年を重ねるにつれ、折に触れてその言葉の持つ意味を考えるようになった。今ではその言葉に出会えたことに感謝している。

「汗をかく」は、仕事をして汗をかくことである。また、スポーツやウォーキングをして汗をかくことでもある。いわゆる体を使って汗をかくことは、体には少々きついが、健康のためにはとてもいい。今しきりに体を動かして「いい汗」をかくことが勧められている。

「字をかく」はもちろん字を書くことである。が、それだけではなく、新聞や本を読んで知識を高め、いろんな角度から物事を見つめる目を養う、あるいは書道などを通して心

を落ちつかせ、集中力を高めることも含まれているのではないか。「字をかく」は、頭、心つまり知的なことの大切さを示しているようである。

「恥をかく」は、私たちが最も気にし、そして気になるところである。人前で恥ずかしい目にあったり、また相手を恥ずかしい目にあわせたりすることは往々にしてある。もしそのようになった時、自分自身の至らなさ、未熟さを反省し、謙虚な気持ちと思いやりの心を持つよう心がけることが大切であるように思う。「恥をかく」は、私たちへの戒めとして受けとめたい。

以上、私なりに勝手な解釈を試みたが、さて皆さんはどのようにお考えになるだろうか。若い時には気にもとめなかった言葉が、年を取るにつれ、瑞々しく蘇ることを改めて実感させられた。これも年を取ったおかげと感謝している。私たちが社会で、地域で生活するためには「3かく」のバランスが保たれていることが望ましいように思う。そしてそのバランスを保つよう努力することもまた必要ではないかと日々感じている。



2007.9.20

陽だまり

事務局だより

新事務局スタッフ紹介

4月から事務局の仲間入りをしました石井弥生です。仕事は主に有料サービスの事務を担当し、電話対応やヘルパーとしても活動しています。実は二年振りの陽だまり復帰なので、中にはご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、すっかり「浦島太郎状態」で「から覚える」ことが多く、この数ヶ月間不手際も多々あり、皆さまにご迷惑をお掛けしたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。持ち前のパワーと明るさでこれからも頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。

新活動会員の紹介

井上 寛隆 さん
いのうえ ひろたか

移送サービスのお手伝いをしておりますが、何をおいても安全でありますことを常に考えて行動しております。待つこと、待たせることなど時間については気にしないようにしておりますが、約束の5分前には着くことを実行しております。温泉が大好きで、月に1〜2回は行きます。近場はほとんど行っています。おすすめは、美都、温泉津です。



研修報告

社内研修

5/26 「倫理・理念について」

講師・廣瀬 長子

(NPO法人陽だまり代表)

6/9 「障害者自立支援法について」

講師・下久保 裕夫 氏

(東広島市社会福祉課)

7/7 「感染症について」

講師・湯浅 時栄氏

(元東広島地区医師会統括所長)

ヘルパー社外研修

4/12 「安全な介護って何？」

講師・下山 名月 氏

(生活とリハビリ研究所・客員講師)

9/13 「どう見る どう考える」

「認知症ケア」

講師・和田 行男 氏

(株・大紀エンゼルヘルプ クオリ

ティーマナージャー)

ケアマナージャー社外研修

5/21 「認知症老人のケア」

講師・三好 春樹 氏

義援金の報告

NPO法人陽だまりより有志で、「市民福祉団体全国協議会」に中越沖地震義援金1000円を送らせていただきました。義援金は被災地のNPO法人に有効に使っていただく予定です。

協力してくださったみなさま、ありがとうございました。

ご寄付の報告

観山昭子様

ありがとうございます。

